

令和2年度事業計画書

1. 保健管理研究集会事業

(1) 全国研究集会開催事業

全国大学保健管理研究集会は、全国の国・公・私立大学における保健管理の研究者及び実務担当者等が一堂に会し、各大学において取り組んでいる学生・教職員の保健管理に関する種々の課題について、その調査・研究成果を発表・討論すると共に、有識者から各種傷病や健康管理基盤などに関する時宜を得た講演を受講したりシンポジウムにおいて議論に参加したりすることにより、大学における学生・教職員等の保健管理の一層の充実、公衆衛公衆衛生の向上並びに学術研究の発展に寄与するために開催している。

令和2年度の第58回全国大学保健管理研究集会は、京都大学を当番校として令和2年11月25日(水)～26日(木)の両日、京都市内において開催する。詳細は当番校からの連絡を受け次第、当協会ホームページ等にて案内する。

(2) 地方部会研究集会開催事業

当協会では、北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中国四国及び九州の各地域に地方部会を設け、地方部会ごとに当該地域の大学等の保健管理施設に勤務する実務担当者等の知的交流及び研究活動の活性化を図り、大学における保健管理の充実に努めている。

各地方部会では、実務担当者等が日頃から取り組んでいる保健管理に関する課題等を持ち寄り、その成果を発表・討論する研究集会を開催するほか、地域の特性に応じたテーマについて職種毎の研究会・研修会を開催し、保健管理に関する知識の啓発や技術の向上、ならびに研究の推進等に取り組んでいる。

令和2年度も昨年度と同様、各地方部会において研究集会や職種ごとの研究会・研修会を開催する。詳細は当番校からの連絡を受け次第、当協会ホームページ等で案内する。

2. 保健管理業務情報事業

(1) 機関誌発行事業

当協会では、機関紙として、全国大学保健管理研究集会の報告集並びに大学における保健管理に関する調査研究活動の成果である研究論文集をそれぞれ年1回刊行している。

令和2年度は、第59回全国大学保健管理研究集会報告書として「CAMPUS HEALTH(1)」

を、機関誌編集委員会において設定したテーマの特集記事及び学術論文を掲載した「CAMPUS HEALTH(2)」を刊行し、本協会のホームページ上に掲載する。

また、当協会の公益性に鑑み、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が構築した「科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）」において「CAMPUS HEALTH（2）」を一般公開することを検討したが、それに伴う事務作業ならびに管理業務の負荷を考慮すると、現体制では対応できないとの判断となった。当分の間、公開は本協会のホームページに限るものとするが、閲覧用のパスワードを会員校で有効に利用して、研究成果を有効に活用してもらうことになった。

(2) 情報活用・交換事業

感染症（例えば、風疹の流行）やメンタルヘルス（例えば、うつ病や自殺など）などの保健管理上の事案に対して大学として時宜を得た施策が求められるが、個々の大学の保健管理施設だけでは十分な対応が難しい。そこで、当協会では大学の保健管理に関する各種の情報や資料の収集を行い、これらを各大学に提供して迅速かつ適切に対応できるようにしている。

令和2年度も、大学の保健管理に関する最新情報や基盤となる資料を当協会の通信網を介して一斉配信したり、ホームページに掲載するなどして広く社会に提供する。また、平成29年度に構築した職種（医師、看護師、公認・臨床心理師等）別、設置母体（国公立）別、地域（地方部会）別の電子メール双方向配信システム（令和元年8月現在の利用大学数287校、ユーザー数907名）の使い勝手を向上させ、会員間の互惠・連携を図ると共に、会員同士の交流の場として活用する。

さらに、当協会の国際連携委員会や保健看護委員会ほか各種委員会の活動状況等をホームページで積極的に発信する。また、各大学における保健管理に関する調査研究活動に対し、新たに財政的支援を行う。そのほか、調査研究の適正な実施を図るため、必要な研究課題に対して倫理審査を行う。